



長野県議会広報

長野県議会広報
第118号

こんにちは 県議会です

「こんにちは県議会です」は、県議会定例会後に発行しています。次回の11月定例会分は、新聞紙面に掲載します。



【党派別議員数】	
定数	58人
自由民主党県議団	20人
改革・新風	14人
県民クラブ・公明	8人
日本共産党県議団	6人
県政ながの	6人
無所属改革クラブ	2人
無所属	1人
現員	57人
平成25年11月現在	

○平成25年9月定例会(9月19日~10月7日)の概要

平成25年9月定例会が開催され、知事から平成25年度一般会計補正予算案、土地利用審査会委員及び教育委員会委員の選任などの議案が提出されました。

本会議の一般質問(32名)、委員会審査などで、新たな県立4年制大学の設置、リニア中央新幹線の整備、県の本庁組織の改正、凍霜害を受けた農家への

支援など様々な課題について活発に議論しました。

審議の結果、経済・雇用情勢への対応、「しあわせ信州創造プラン」実現への取組、凍霜害を受けた農家への新たな支援策等を盛り込んだ総額72億5,209万円余の補正予算案など、知事提出議案20件を原案のとおり可決等しました。

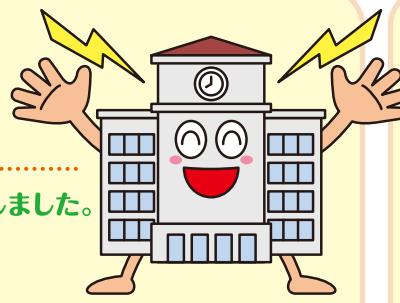
議員提出議案では、11件の意見書等を可決しました。

●本会議での主な審議

詳細な内容は県議会ホームページの録画中継でご覧いただけます。



1 新県立大学 基本構想



新たな県立4年制大学の基本構想について議論しました。

Q 開学に向け、どのように進めていくのか。

A これから設置する予定の専門部会で、教育課程の編成や教員選考、施設整備のあり方等をしっかり検討し、その結果を県民の皆様に説明していく。また、県内私立大学も含めた関係者と意見交換を行い、広く県民の皆様の理解を得ていく。

Q 専門部会での検討段階から学長予定者の参加は不可欠である。学長予定者の選考はいつ行うのか。

A 学長予定者を早期に選任することは関係者共通の思いである。いたずらに時間をかけるつもりはないが、新県立4年制大学の基本構想を理解し、人づくりに情熱をもって取り組んでいただける方を選んでいきたい。



2 リニア 中央新幹線

リニア中央新幹線建設に向けた県の取組について議論しました。

Q 建設に向け、国や市町村、関係団体など多くの検討組織があるが、県として全体を掌握し、役割を整理すべきでないか。

A 県と地元自治体で設立した「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」を中心に、様々な検討と総合調整を行っていく。また、各地域の組織・団体と情報の共有に努め、連携を進めていく。

Q 建設や地域振興などの様々な課題に対し、県が責任をもって対応すべきではないか。

A 広域的な課題については、今年度策定する「リニア活用基本構想(仮称)」に地域の意向を反映させるなど、県として責任をもって対応していく。



3 県の組織改正



県が行政機構審議会に示した本庁組織の改正(素案)について議論しました。

Q 今回の改正の基本的な考え方何か。

A 社会情勢の変化に伴う新しい課題が生じ、県民ニーズも多様化している中、県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」に掲げた施策を着実に推進できる組織にするための改正である。

Q 改正素案で示された、企画振興・産業労働・県民生活の3部門の設置の目的は何か。

A 「しあわせ信州創造プラン」推進のための企画・総合調整機能の強化と、地域振興の推進体制を整備するため、企画部を「企画振興部(仮称)」に改編。付加価値の高い産業の構築を目指し、産業施策全般の総合調整をするため、商工労働部を「産業労働部(仮称)」に改編。文化、消費生活、子ども・若者などの施策を一体的に所管する「生活文化部(仮称)」を新設。



4 凍霜害を受けた 農家への支援



4月に発生した凍霜害により農作物被害を受けた農業者への支援について議論しました。

Q 凍霜害の被害を受けた果樹の生育状況はどうか。

A 中南信地域などで5割以上減収となる園地がみられるものの、人工授粉などを指導した結果、県全体では一部の品目を除き果樹の生産量は概ね確保されると見込まれる。

Q 9月補正予算案における凍霜害対策はどのような内容か。

A 新たな取組として、5割以上減収となる甚大な被害を受けた農業者を対象に、農業団体が地域ぐるみで行う果樹園の維持管理等への支援に対して助成する。また、市町村が行う災害対策資金への利子助成に対してさらに助成することにより、農家への貸付金利を無利子化する。

○議員提案により「長野県がん対策推進条例」を制定しました

がん対策に関し、基本理念、県の責務、施策の基本的事項等を定めた「長野県がん対策推進条例案」を議員提案し、全会一致で可決しました(10月15日公布・施行)。

がんは、県民の疾病による死亡原因の第1位であり、県民の生命、健康にとって重大な問題となっていることから、全議員が参加する「長野県がん征圧議員連盟」では、昨年3月に各会派の代表と県職員からなる「がん対策推進条例(仮称)制定検討調査会」(会長:宮澤敏文議員、幹事長:金子ゆかり議員)を設置して、計12回にわたり条例案の検討を重ねてきました。

検討に当たっては、関係団体の皆様との意見交換や県民の皆様からの意見募集などをより幅広く行い、県民の視点に立ったがん対策ができるよう、ご意見等は可能な限り条例案に反映するよう努めました。

今後、本条例の制定を機に、本県のがん対策が一層推進されていくこととなります。



関係団体との意見交換の様子



調査会長から正副議長に条例案を報告

条例の特徴

- 患者会等との意見交換を反映して、がん患者とその家族に寄り添ったがん対策ができるよう、がん患者及びその家族に対する配慮等について基本理念で丁寧に規定(第2条)
- がんの正しい知識と健康な生活習慣を身に付ける「がんの教育の推進」を規定(第14条)
- がん患者の身体的、精神的な苦痛や生活上の不安の軽減等を目的とする「緩和ケアの推進」を規定(第16条)
- がんへの県民の意識を高める「がんと向き合う週間」(毎年10月15日~21日)を規定(第20条)
- その他、市町村との連携協力、県民・医療・保健・福祉・教育に関する者等の役割、基本的施策の実施等について規定しています。

*詳しくは県議会ホームページでご覧いただけます。

●常任委員会の委員長報告から

各委員会は、付託議案や所管事項について質疑等をし、県の部局に対して要望・要請を行いました。

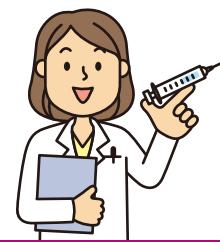
総務企画警察委員会

- 新県立大学について、今までの検討経過や県内高等教育の現状、基本構想に示された大学像等を、県内4箇所で意見交換会を開催するなど、あらゆる手段や機会を活用し、多くの県民の理解を得るよう丁寧に説明すること。また、学長の選考をはじめ開学に向けた準備を着実に進めること。
- 特殊詐欺被害防止対策について、被害者の多数を占めている高齢者に的を絞り、自治会や敬老会などあらゆる機会を活用し、分かりやすいチラシの配布など効果的な予防策を実施すること。

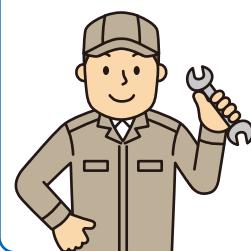


健康福祉委員会

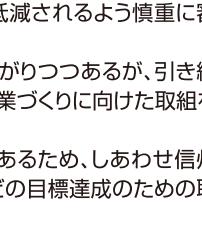
- 老朽化が進んでいる松本赤十字乳児院と県立総合リハビリテーションセンターについて、早期の改築等に向けた支援の検討を進めること。
- 北信地区的救命救急センターの指定について、人口規模など実態に見合った配置が行われるよう検討すること。
- 県が制定を検討している子どもの支援条例について、条例で設置予定の子ども支援センターと児童相談所との関係・役割を整理するなど、慎重に検討を進めること。
- 長野県がん対策推進条例の制定に伴い、県外の医療機関へ行かなくても県内でがんの治療を受けられる体制整備に取り組むこと。



環境商工観光委員会



- JR東海から提出された中央新幹線環境影響評価準備書について、事業の実施に伴う環境への負荷ができる限り低減されるよう慎重に審査すること。
- 本県経済は、景気持ち直しに向けた動きが広がりつつあるが、引き続き、経済・雇用対策に取り組み、足腰の強い産業づくりに向けた取組を一層推進すること。
- 観光産業は県内経済を支える重要な産業であるため、しあわせ信州創造プランに掲げた県内観光地利用者数などの目標達成のための取組を一層推進すること。



農政林務委員会

- 農業の6次産業化(※)について、市町村や関係団体との連携を図り、農業者に対する相談体制の強化を図ること。
 - 農地の集約化を推進するため国が設置を検討している「農地中間管理機構」について、地域の実情に合った制度となるよう、引き続き国に求めること。
 - 松くい虫対策に関して、これ以上の被害地域の拡大を防ぐため、市町村での対策だけでなく、県が率先して広域的に対応すること。
- ※6次産業化…第1次産業である農林水産業が、2次産業(加工)や3次産業(販売等)に経営を拡大・連携する取組

危機管理建設委員会



- リニア中央新幹線の関連道路等について、県内リニア駅の位置が示されたことから、道路ネットワーク計画を早期に取りまとめ、整備体制を検討すること。
- 豪雨災害等への対応について、被害を受けた道路等を早期に復旧すること。また、防災対策として、河川の護岸、砂防えん堤等の整備や河川内の支障木の伐採などの維持管理を計画的に進めること。
- 災害時の情報伝達について、住民の生命を守るために、特別警報等発表時に住民が迅速に避難等必要な行動をとることが重要であるため、引き続き、迅速でわかりやすい情報を伝達すること。

文教企業委員会



- 全国学力・学習状況調査について、秋田県や福井県などの成績上位県の取組状況を参考にし、学校現場における学習内容の確実な定着を図るため、授業の見直しや教員の指導力向上に取り組むこと。
- 児童生徒の携帯電話とインターネットの利用について、児童生徒に対して情報を評価・識別する能力や情報モラルの教育を一層推進すること。また、教員や保護者に対しても、新たな情報通信機器やサービスへの理解を促進すること。

総務企画警察委員会

7月25日～26日に警察学校など6現地機関と元気づくり支援金事業箇所4箇所を、また、9月6日に東京事務所を調査しました。



元気づくり支援金事業の視察

健康福祉委員会

8月29日～30日に長野保健福祉事務所など5現地機関と長野市民病院など5箇所を調査しました。



長野市民病院(長野市)の視察

環境商工観光委員会

8月1日～2日に長野地方事務所など12現地機関と東洋計器株式会社など4箇所を調査しました。



東洋計器株式会社(松本市)の視察

農政林務委員会

9月4日～5日に長野地方事務所など9現地機関とかんがい排水事業など11箇所を調査しました。



県営かんがい排水事業の視察

危機管理建設委員会

8月26日～28日に北信建設事務所など13現地機関と道路事業など10箇所を調査しました。



北陸新幹線飯山駅関連事業の調査

文教企業委員会

8月27日～28日に総合教育センターなど4現地機関と飯田OIDE長姫高等学校など3教育機関を調査しました。



下伊那農業高等学校の調査

決算特別委員会

9月9日～10日に佐久地方事務所など21現地機関を調査しました。



工科短期大学校の調査

○「こんにちは県議会です」屋代高校附属中学を開催しました



10月21日(月)に屋代高等学校附属中学校(千曲市)で、県民の皆様に身近で開かれた県議会を目指した「こんにちは県議会です」屋代高校附属中学を開催しました。

本郷一彦議長、小松千万蔵副議長、広報委員(6人)の8議員が出席し、中学2年生の80人の生徒の皆さんをはじめ約100人の御参加がありました。

最初に、広報委員から議会の役割と仕組みや実際の活動状況について紹介し、続いて生徒の皆さんから、議会の役割や活動などについて熱心に多くの質問が寄せられました。

当日の内容は県議会ホームページでご覧いただけます。

●平成25年9月定例会で可決した議員提出議案一覧

意見書は国などに提出し実現を求めました。

- 長野県がん対策推進条例
 - 消費税の軽減税率の導入を求める意見書
 - 環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉に関する意見書
 - がんに関する教育施策の推進を求める意見書
 - 労働環境の整備を求める意見書
 - 大規模地震等災害対策の促進を求める意見書
 - 建築物の耐震化の促進に関する意見書
 - 奨学金制度の拡充を求める意見書
 - 学校教育の更なる充実を求める意見書
 - 介護サービスの水準維持を求める意見書
 - 持続可能な国民健康保険制度の構築を求める意見書
- ※意見書等の内容は県議会ホームページでご覧いただけます。

トピックス

県議会広報を充実しました。

○小学生の議場見学で、県議会の役割や仕組みなどを説明しています。公務日程を調整し、可能な限り正副議長が対応します。



議会改革に関する検討結果

- 政務活動費…月額2万円の減額を平成26年度まで延長(年間1,392万円の削減効果)
- 海外視察…凍結期間を平成26年度まで延長

11月定例会は11月21日(木)に開会します。

○本会議及び委員会は公開されています。傍聴を希望される方は、議会棟1階の受付で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席数に限りがあるため、先着順による受付を行っています。

○また、県議会ホームページでは、本会議の映像をライブ中継及び録画により配信していますのでご覧ください。

県議会ホームページをご覧ください

長野県議会 検索



携帯サイトはこちらから→

県議会ツイッターをご覧ください

皆様のフォローをお願いします。

アカウント

@Naganokengikai

広報番組「こんにちは県議会です」を、ケーブルテレビで放送します

○内容 健康福祉委員会と環境商工観光委員会の9月定例会の模様(一部の地域は除く)
(放送日時は、ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
過去1年分の番組は、県議会ホームページでご覧いただけます。)